



自社との連携の可能性を探りながら、他社のセールスポイントに熱心に耳を傾ける参加者（2月26日）。

# Movement せんだい

2 / 26 ~ 3 / 11

**地域特性を生かした  
ものづくりネットワーク構築を！  
三都市工業部会が交流会開催**

仙台・米沢・会津若松の三商工会議所の製造業関係者が集い、地域を越えたビジネス交流を目指した初めての交流会を二月二十六日に仙台で開催しました（四十一企業・七十人参加）。

今回の交流会は、当所工業部会（今野敦之部会長）の呼びかけで実現。当日は、「講演会」、「参加企業PR」、「名刺交換会」の三部構成で進められ、第一部の講演会では、宮城県産業技術総合センターの萱場文彦副所長らが、富県戦略と自動車産業参入のポイント等を説明。第二部では、あらかじめ用意された企業情報シートや企業パンフレットをもとに、参加企業が自社の技術やセールスポイントをアピール。会場では企業の特徴を熱心にメモを取る参加者の姿が多数見受けられました。

本交流会は今後、進出企業への対応も視野に入れながら、米沢、会津若松でも開催し、産学官連携を含む広域的な「ものづくりネットワーク」の形成を目指し、活動を進めていきます。



第1部では、トヨタ自動車でエンジン設計等を担当した県産業技術総合センターの萱場副所長が講演。自動車産業参入に必要な視点等を披露した。

## 「伊達にいつてみよう！」平成23年 青年部全国大会みやぎ・仙台大会 PRキャラバンスタート

平成二十三年二月十七日、二十日にかけて、宮城で開催する青年部（YEG）第三十回全国大会（阿部賀寿男大会会長）のPRキャラバンを、今年度の全国大会えひめ・松山大会（三月四日、七日）でスタートしました。

当日は仙台を含む、宮城県内のYEGメンバー八十六人が、阿部大会会長の音頭の下、歴史・文化・産業・自然を兼ね備えた宮城での大会をPR。宮城YEG連合会は、「伊達に華やげ千代に続け愛する地域のために」という大会コンセプトを掲げ、第三十回記念大会を成功に導くべく、一丸となつて取り組んでいきます。

現在、志を共にする会員を募集中。お問い合わせは、当所中小企業支援部まで。



青年部全国大会が行われた松山で、来年度のみやぎ・仙台大会への参加を呼びかける阿部大会会長ほか、県内YEGのメンバーたち（3月5日）。

## 【報 討】 地域経済発展のために尽力 村松巖当所直前会頭逝去

当所直前会頭の村松巖氏が三月十一日、心不全のため永眠されました（享年八十五歳）。

村松氏は、第二十二代会頭として、平成十一年十二月から十六年十月まで四年十一カ月にわたって会頭職を務めました。在任期間中は、地域固有の商業文化である「仙台初売り」の元旦開催をめぐる動きに際し、ジャスコ（現イオン）の岡田元也社長とのトップ会談などを通じて、市内二日一斉開催の形をまとめあげたほか、「地下鉄東西線」の必要性を一貫して国に訴え、事業化を実現、開府四百年事業「平成の遣欧使節団」ではローマ法王に謁見、また「一



仙台開府四百年記念事業で一番町をパレードする村松直前会頭（平成13年2月撮影、前列左から2人目）。

日商工会議所」では地域商工業者の声に熱心に耳を傾け、役員に身近な役に立つ商工会議所の実現を目指し、地域経済発展のために尽力されました。

村松氏の生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

## 会議所の賢い使い方教えます！ 「会員ウェルカムパーティー」開催

当所入会二年以内の新入会員を対象とした「新入会員ウェルカムパーティー」を三月三日に開催しました（四十七事業所・七十五人参加）。

本事業は、新入会員による当所事業メニューの積極的な活用と、会員相互の交流促進を目的に開催。冒頭、当所が今後三カ年重点的に行う「中期ビジョン」や会議所事業の活用方法を紹介。その後、リハビリ用の足こぎ車いすを取り扱うTESS（テス）の鈴木堅之社長が、実際に資金調達をはじめとした商工会議所の経営支援サービスを活用して製品を開発し、順調に業績を伸ばすまでに至った企業経営の実例を発表しました。

交流懇談会では、会頭や副会頭が参加の下、会員同士の積極的な歓談や名刺交換が行われ、参加者からは「普段会えない人に会える良い機会。今後はもっと会議所の入会メリットを生かしていきたい」との声が聞かれました。



名刺交換や会員同士の積極的な交流が行われた交流懇談会（3月3日）。



足こぎ車いすのデモンストレーションを行うTESSの鈴木社長。



## ぶらり仙台まちめぐり

### 「朝市周辺エリア」三月オープン

マップ片手に仙台を歩こうをテーマに当所が運営を進める仙台のまち歩きポータルサイト・ぶらり仙台まちめぐりに「朝市周辺エリア」を三月に追加掲載しました。

同サイトは、従来の五エリア（荒町・長町・八幡町・連坊・原町）に続く立ち上げで、百万市民の台所として親しまれる仙台朝市からは鮮度バツグンの生鮮品を取り扱う約二十店舗の逸品情報を掲載。今後は各店舗の情報とともに、大日如来や仙台銀座など、周辺の地域資源も随時掲載し、情報を更新する予定です。

また、「長町エリア」では十店舗が新たに参加。掲載エリアも順次拡大しながら、鮮度の高い魅力あふれる情報を発信していきますので、ぜひともご覧ください。

URL <http://www.burasen.jp/>



威勢のよいかげ声が響き渡り、連日多くの買い物客で賑わう仙台朝市。写真は佐藤敬商店。



労働者の権利保護に対する要求や法改正に伴い、労務管理への取り組みがさらに重要になったと説く豊嶋先生（3月3日）。

## 従業員が満足できる職場環境を！ 「社会保険・労働保険」実務を学ぶ

当所では、社会保険・労働保険と労働基準法改正に伴う実務対策を学ぶセミナーを三月三日に開催しました（六十三人参加）。

講師の豊嶋正孝特定社会保険労務士が四月施行される改正労基法のポイントを解説。「今回の改正は、時間外労働の限度に関する基準の改定や、月六十時間を超える時間外労働の法定割増賃金率の引き上げ（二五%→五〇%）、労使間協定による時間単位年休の導入など、経営への影響も少なくない。経営者や労務管理者は最新情報を入手し、適切な管理を行う必要がより一層求められる」とアドバイスがありました。

「労務管理でお困りのことがありましたら、当所中小企業支援部まで。」

## さらなる活躍を目指して

### 「宮城・山形女性交流会」開催

宮城・山形未来創造会議（当所事務局）などでは、県境や業種を越えて活動する女性の人脈づくりを支援するため「第四回みやぎ・やまがた地域を超えてチャレンジする女性の交流会」を二月二十六日に開催しました（百五十人参加）。

基調講演では、人材コンサルタントとして世界を舞台に活躍する日本コロン・フェリー・インターナショナルの橋フクシマ咲江会長が「グローバル化の中で求められる人財」と題して講演。その後行われた宮城・山形の食材を用いた昼食交流会や、「ヒット商品づくりのツボ」など、七テーマでの分科会等を通じて、参加者同士で積極的に意見交換を行いました。

また当所では、参加者の経営相談に応じるブースを会場内に設置。女性経営者らの経営改善や創業等の悩みに対し、中小企業診断士や経営指導員が進むべき進路をアドバイスしました。



「経験がないと、能力は育たない。若いうちから多くの経験を積むことが何よりも大切」と経験することの重要性を述べる講師の橋会長（2月26日）。